

2025 年度 年次大会・定例総会

2025 年 6 月 21 日 (土)

- 10:00~10:10 挨拶 土屋久 (順天堂大学)
- 10:10~11:20 基調講演 久保源一郎 (十島村村長)
トカラ列島の戦後のあゆみ
- 一般研究発表
- 13:00~13:30 内藤幹生 【オンライン】
近代移行期におけるキリシタンの葬儀執行における諸問題
- 13:30~14:00 大久保史枝 【オンライン】
新潟県佐渡島の婚姻習俗「センタク帰り」における仲人による縁組の意義
- 14:00~14:30 鳥居享司 (鹿児島大学)
漁協直売店の経営改善にむけた取り組みの成果と課題
- 14:30~14:45 休憩
- 14:45~15:15 柴山慧 (福山平成大学)
離島の小学校体育授業における地域人材の活用についての事例研究
-大崎上島のA 小学校を対象として-
- 15:15~15:45 堀本雅章 (法政大学)
小規模離島沖縄県竹富町鳩間島における観光の特色-2015 年と 2023 年を比較して-
- 15:45~16:15 小山茂 (東京都立広尾病院)
島嶼における獣害対策の歴史
- 16:15~16:30 総括・まとめ
- 16:30~16:45 休憩
- 16:45~17:15 定例総会

場所：鹿児島大学下荒田キャンパス、水産学部 4 号館 2 階 23 号教室

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html#access-shimoarata>

基調講演

テーマ：トカラ列島の戦後のあゆみ

基調講演：久保源一郎（十島村村長）

概要：本年は、先の大戦終結から80年の記念すべき年です。それにあたり、今回の年次大会では、学会の性格に鑑み、一島嶼部から戦後の80年を振り返り、将来に向けての展望を皆さん方と探っていきたいと考えます。

年次大会の鹿児島大学開催を受けて、基調講演は、十島村村長の久保源一郎様にお願いしました。十島村は、トカラ列島を統括する自治体で、戦後、1946年から'52年の間アメリカ軍の軍政下におかれました。復帰にあたり、かつての上三島は、三島村として別の自治体となっています。また、同じく軍政下におかれていました隣接する奄美群島が本土復帰するのは、1953年のことです。因みに、沖縄復帰は1972年、小笠原諸島は1968年となります。復帰後、沖縄をはじめとした地域には、特別措置法が施行されましたが、トカラ列島にはそれがありませんでした。

こうした戦後のトカラ列島（十島村）の経験に学びながら、冒頭に挙げた課題を共有できたら幸いです。